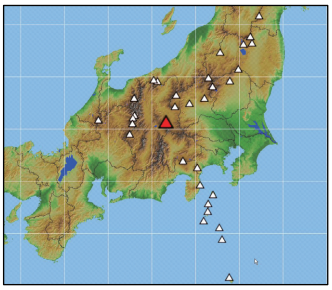
46. 横岳（よこだけ） Yokodake

北緯36° 05′ 14″　東経138° 19′ 13″　標高2,480m　(横岳)(標高点)



横岳全景　蓼科山山頂から　2004年6月4日　西来邦章撮影

概要

横岳は、長野県中東部の八ヶ岳火山列北端に位置し、厚い溶岩流と溶岩ドームからなる、東西4km、南北2kmの小規模な火山である。火山体は10のユニットに区分され(河内, 1974)、その多くは溶岩である。中でも山体南側に位置する八丁平溶岩(Y9)は地形がきわめて新鮮で植生もほとんど発達しておらず、この溶岩の下位にあたると思われる水蒸気テフラの直下の土壌は、放射年代測定によると約600～800年前のものであると測定されている(奥野, 1995)。このことから、その頃に溶岩流を流出する噴火が発生したものと判断される。構成岩石のSiO_2量は60.2～66.2 wt.% である。

地形図

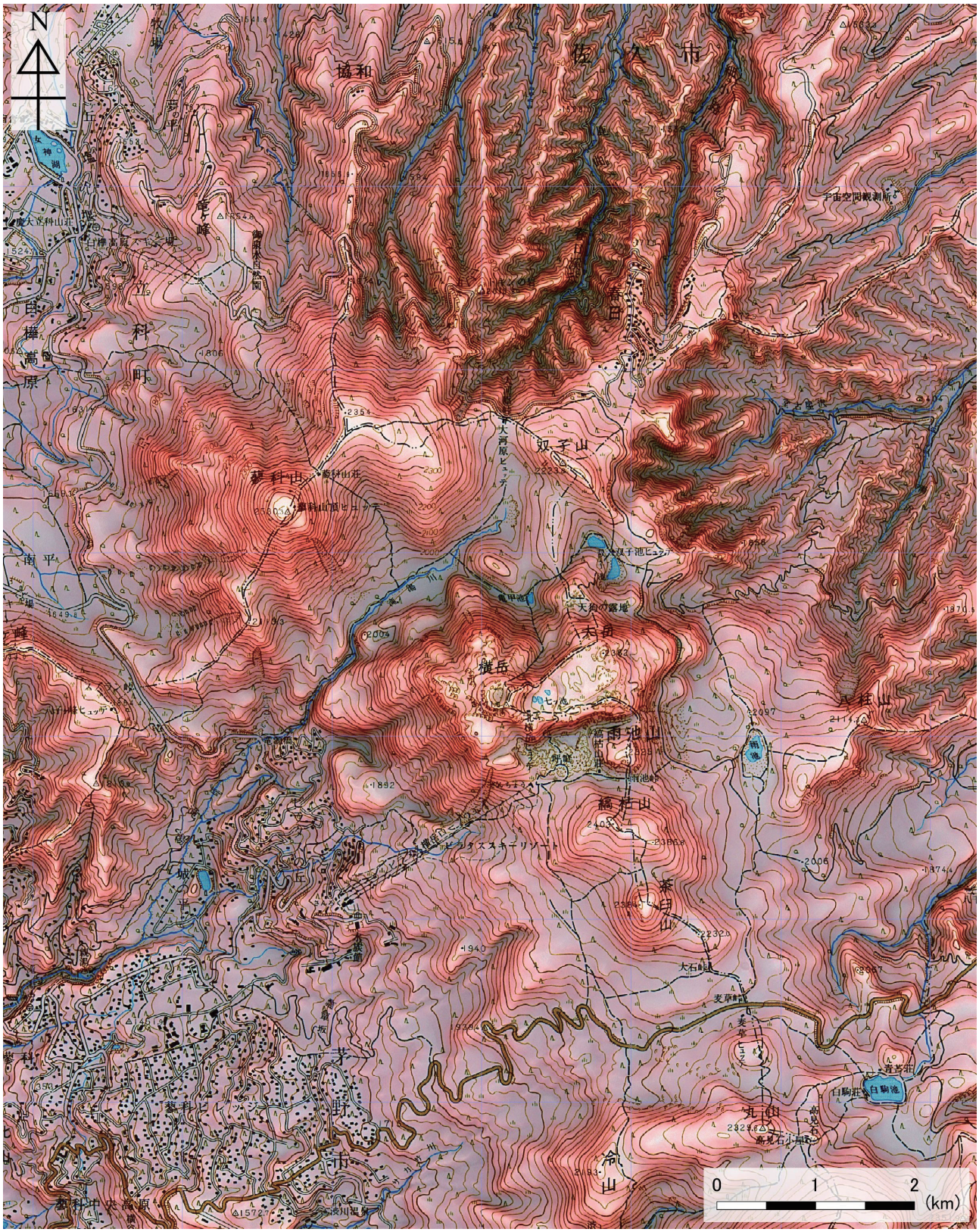


図 46-1 横岳の地形図.

国土地理院発行の 5 万分の 1 地形図(蓼科山)及び数値地図 50m メッシュ(標高)

噴火活動史

・過去１万年間の噴火活動

１万年間の詳細な活動は不明であるが、最新の降下火砕物は約 800 年前に噴出したと考えられ、その噴火に伴って八丁平溶岩が流した可能性がある(奥野, 1995)。

噴火年代	噴火場所	噴火様式	主な現象・マグマ噴出量
2.4ka＜[5]	山頂火口[4]	マグマ噴火[4,5]	火砕物降下。
0.9←→0.7ka[5]	横岳南斜面側火口[1,2,5]	マグマ噴火[1,2,4,5]	NYk-1・八丁平溶岩噴火:火砕物降下、溶岩流。マグマ噴出量は 0.003 DREkm^3。[2]

※噴火イベントの年代、噴火場所、噴火様式等については、(独)産業技術総合研究所の活火山データベース(工藤・星住, 2006-)を参考とした。なお、年代は暦年代で示す。表中の「ka」は「1000 年前」を意味し、西暦 2000 年を 0 ka として示した。

A←→B：A 年から B 年までの間のどこかで起こった噴火イベント

A＜：A 年以前に起こった噴火イベント

【引用文献】

1. 河内晋平 (1974) 蓼科山地域の地質. 地域地質研究報告(5 万分の 1 地質図幅), 地質調査所, 119p.
2. Kawachi, S., Nakaya, S. and Muraki, K. (1978) YPm-IV pumice bed in Northern Yatsugatake, Yatsugatake Volcanic Chain, central Japan -Studies on Yatsugatake tephra Part 1-. Bull. Geol. Surv. Japan, **29**, 21-33.
3. 中村美千彦 (1991) 北八ヶ岳火山新期の岩石学的モデル. 火山, **36**, 93-112.
4. 奥野　充・中村俊夫・守屋以智雄 (1994) 北八ヶ岳火山, 横岳溶岩ドームの完新世噴火活動. 日本地質学会第 101 年学術大会講演要旨, 221.
5. 奥野　充 (1995) 古土壌の加速器 ^{14}C 年代による噴火年代の推定. 名古屋大学加速器質量分析器業績報告書, **6**, 43-53.

・有史以降の火山活動

記録に残る火山活動はない。

近年の火山活動

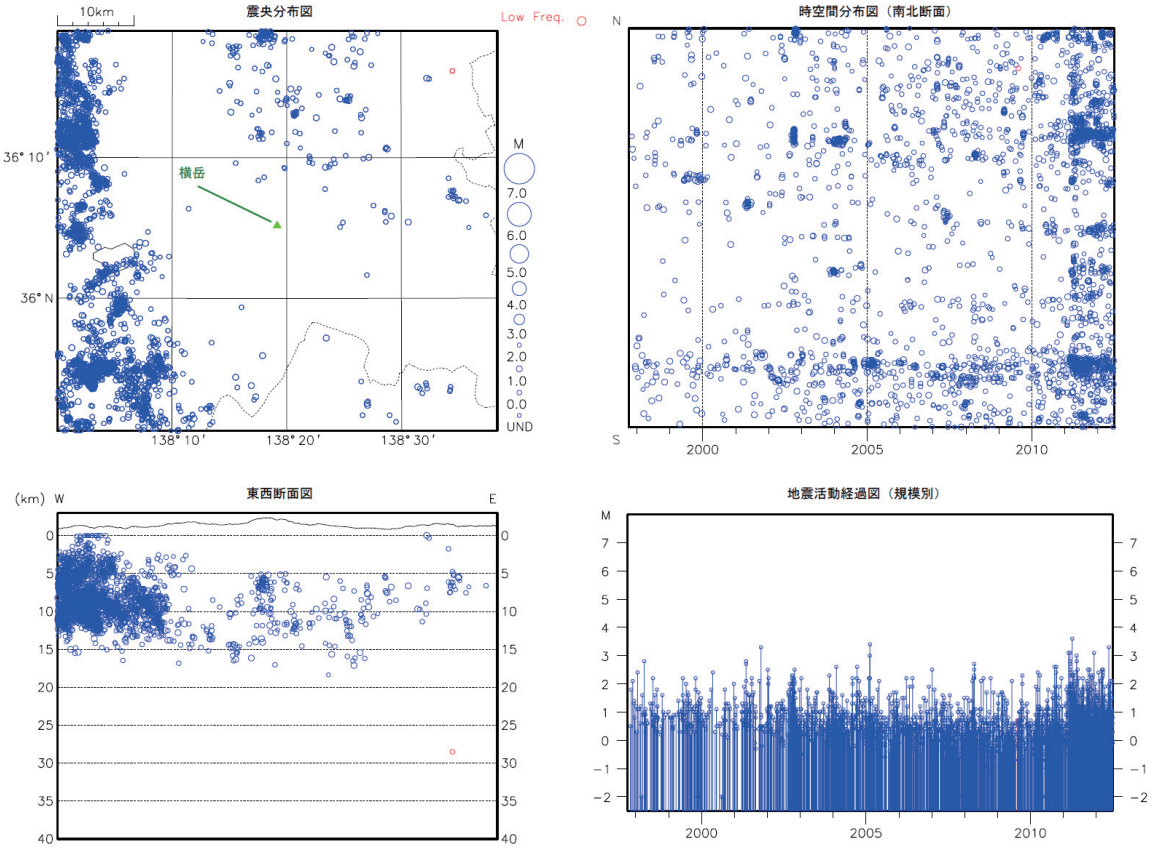


図 46-2　広域地震観測網による浅部の地震活動(青)及び深部低周波地震活動(赤)
(1997 年 10 月 1 日～2012 年 6 月 30 日).

防災に関する情報

①火山防災協議会

なし

②避難実績及び入山規制等の実績

いずれもなし

・規制の根拠となるもの

なし。

・規制実施機関（関係機関）

茅野市防災対策課　茅野市塚原 2 丁目 6 番 1 号　0266-72-2101(内線 136)

・規制範囲に関する地図

特になし。

社会条件等

①人口

・茅野市人口：56,145 人

・佐久穂町人口：11,938 人

（平成 23 年（2011 年）10 月 1 日現在　長野県毎月人口異動調査結果による）

②国立・国定公園・登山者数等

・八ヶ岳中信高原国定公園

年間観光客数：茅野市（1,333,100 人：蓼科）

（平成 22 年観光地利用者統計調査結果：長野県 観光企画課）

北八ヶ岳ロープウェイ利用者　26 万人（茅野市：平成 22 年 1 月～12 月）

③付近の公共機関

機関・部署名	所在地	電話番号
茅野市危機管理室防災対策課	茅野市塚原 2-6-1	0266-72-2101

④主要交通網

・JR 中央本線

・中央自動車道

・北八ヶ岳ロープウェイ

・国道 20 号、141 号、299 号

⑤関連施設

・八ヶ岳総合博物館

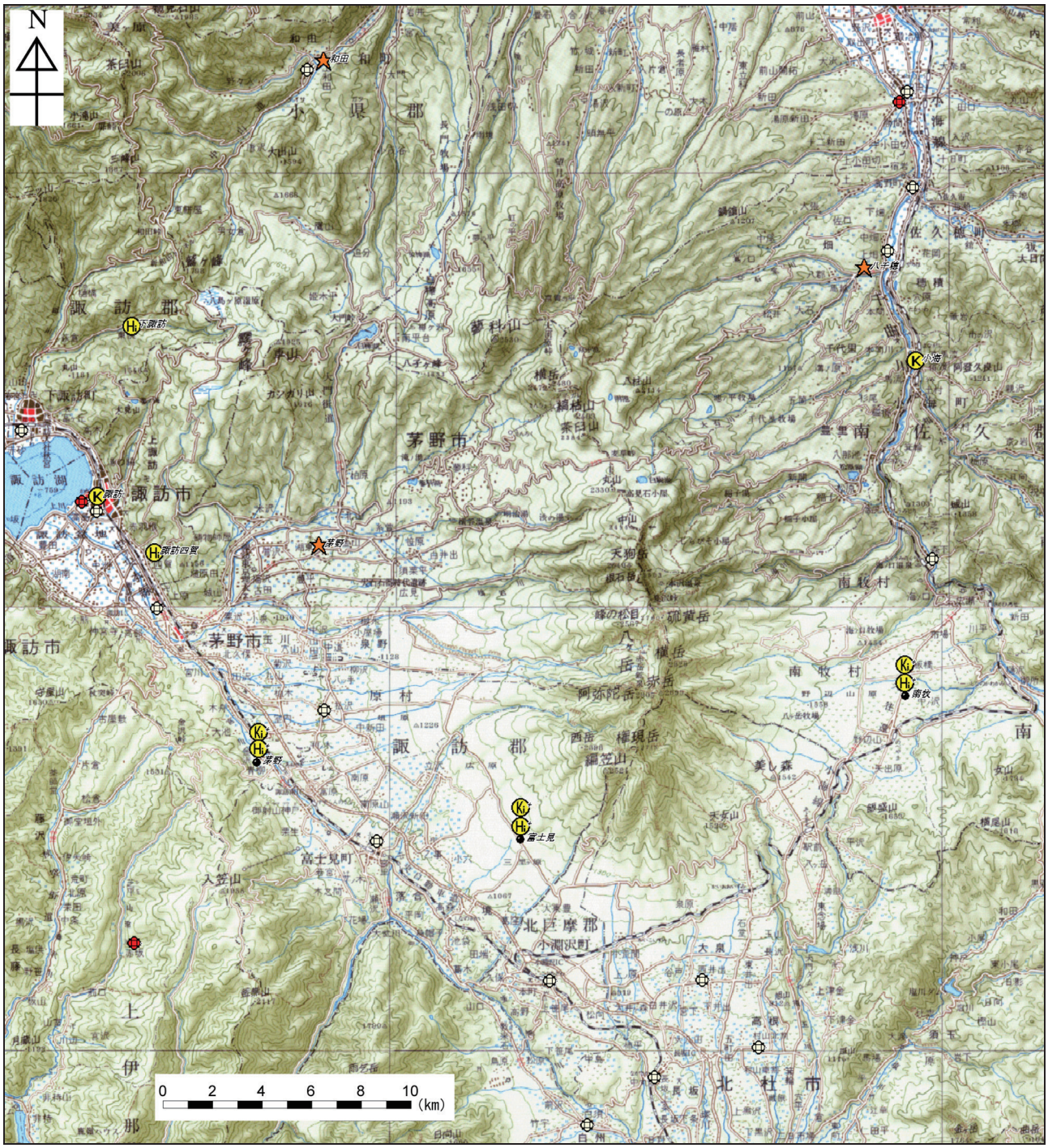
関係する主な気象官署

機関・部署名	所在地	電話番号
東京火山監視・情報センター	（気象庁本庁）東京都千代田区大手町 1-3-4	03-3212-8341
長野地方気象台	長野県長野市箱清水 1-8-15	026-232-2034

気象庁および大学等関係機関の観測網

広域

※ 同一地点に複数の計器を設置している場合には、観測点の位置を●で示し、その周囲に設置している観測点の種類を示している。



国土地理院発行の 20 万分の 1 地勢図(高山、飯田、長野、甲府)

凡　例

(気象庁)	(国土地理院)	(防災科学技術研究所)	(自治体)
震度計	GPS	Hi-net	震度計
		K-NET	
		KiK-net	

図 46-3　観測点位置図（広域）.

引用文献

河内晋平（1974）5 万分の 1 地質図幅「蓼科山地域の地質」．地質調査所.

奥野　充（1995）古土壌の加速器 ^{14}C 年代による噴火年代の推定．名古屋大学加速器質量分析器業績報告書，**6**，43-53.